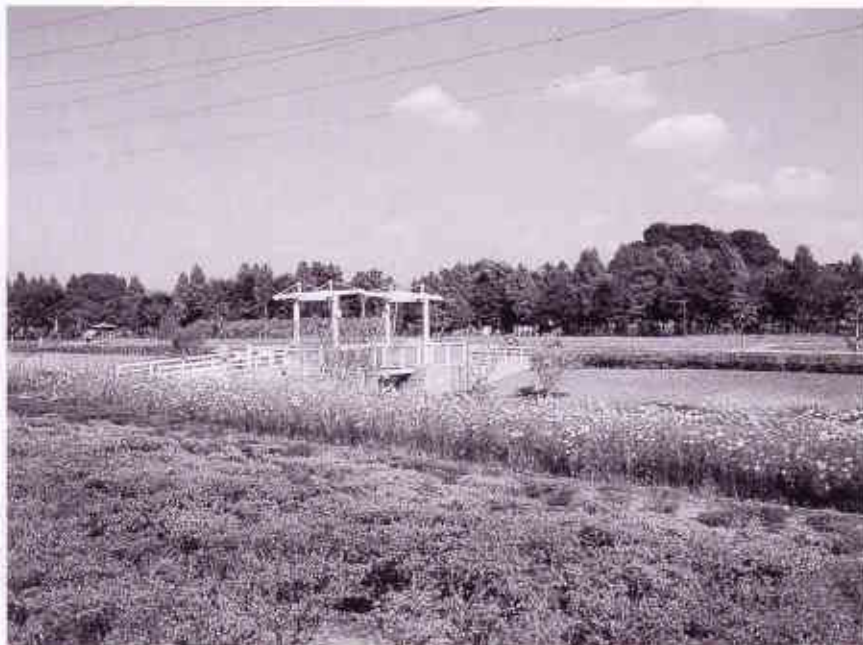


# 西区 水と緑と花のまち 区民会議だより

2004

第2号

発行年月/平成16年3月 発行/さいたま市西区区民会議 事務局/さいたま市西区役所コミュニティ課



大宮花の丘農林公苑

## 目次

### 1

#### ワークショップの概要……2

区民会議で、西区の抱える課題について話し合いました。

### 2

#### 区民意識調査の結果概要……3~6

西区民4,000人を対象に実施したアンケート調査の結果を報告します。

### 3

#### 来年度以降の区民会議の活動方針……7

西区の抱える課題の解決方向について話し合いました。

#### 『水と緑と花のまち』

#### 西区のまちづくりに参加しませんか!……8

西区コミュニティ会議  
(まちづくり活動団体)を募集します

## 西区 区民会議って何!?

西区区民会議は、各種団体からの推薦や公募で選出されたボランティアによる23名の委員により構成されています。

その目的は、区政に広く区民の意見を反映し、区民が主体となって区の特徴・特性を活かした魅力あるまちづくりを推進するとともに、西区民と西区の協働を実現させることです。

主な活動内容は以下の通りです。

- まちづくりに関する諸課題についての協議及び提言



- 西区民と西区の協働による魅力あるまちづくりのための活動

- 西区の健全な発展に寄与する活動

現在、西区区民会議は

- 都市基盤・交通部会
- 健康・福祉部会
- 文化・コミュニティ部会

の3部会で、西区固有の課題とその解決方法について検討しています。

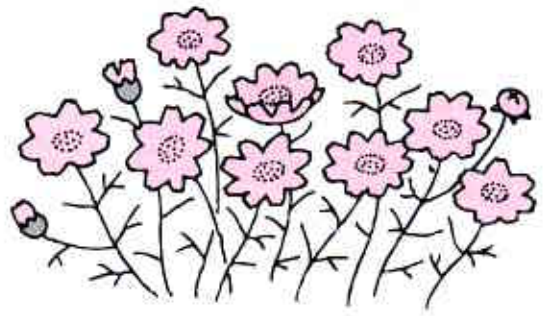
会議は公開で開催され、傍聴出来ますので、ぜひ聴きにきて下さい。

また、まちづくりに関する区民の皆さんのご意見をお待ちしています。

# 1 ワークショップの概要

西区区民会議では、平成15年10～11月に3つの部会ごとに2回にわたるワークショップを実施し、西区の魅力、西区の抱える固有の課題などについて話し合いました。

以下にその結果の概要をご紹介します。



## (1) 都市基盤・交通部会の成果

### ① ワークショップの結果の概要

西区における都市基盤の整備状況や自然環境保全の現状と課題について検討しました。

### ② 検討項目

#### 【基盤整備について】

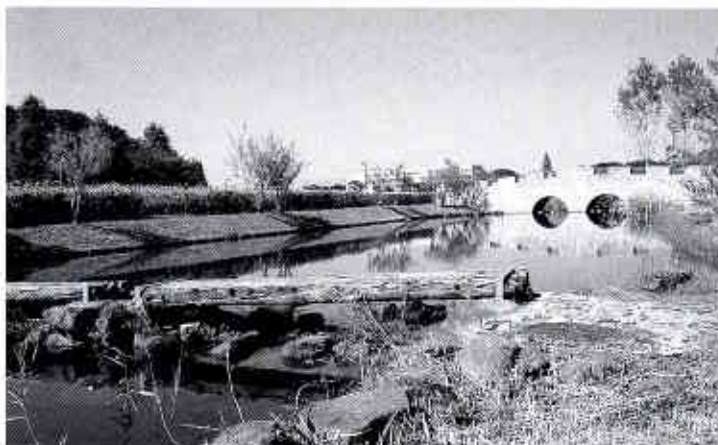
- 基盤整備一般
- 公共施設
- 交通問題
- 安全なまちづくり
- ゴミ処理

#### 【自然環境について】

- 河川
- 緑

### ③ まとめ

ワークショップの成果として、「基盤整備」の中で交通問題と公共施設の利用利便性の問題、「自然環境」の中で河川や緑の保全と活用の問題が大きいことが分かりました。



大宮花の丘農林公苑（ビオトープ）

## (2) 健康・福祉部会の成果

### ① ワークショップの結果の概要

西区における健康や福祉に関する課題を以下の6項目に整理して検討しました。

### ② 検討項目

- ① 障害者
- ② 基盤整備・公共施設の利用
- ③ 自然環境
- ④ 子育て支援
- ⑤ 健康・生きがいづくり
- ⑥ 高齢者

### ③ まとめ

ワークショップの成果として、以上の6項目を通じて「交流」という共通のキーワードが浮かび上がってきました。

## (3) 文化・コミュニティ部会の成果

### ① ワークショップの結果の概要

西区特有の文化資源の保全と活用、コミュニティの育成などについて検討しました。

### ② 検討項目

- ① 自然環境
- ② 基盤整備・区の活性化
- ③ 行政
- ④ 区民活動
- ⑤ スポーツ振興
- ⑥ 高齢者
- ⑦ 歴史・文化・芸術
- ⑧ 青少年

### ③ まとめ

ワークショップの成果として、文化・コミュニティ部会で扱う8分野の問題は、相互に重なり合っていることが分かりました。

また、区独自の文化の育成、コミュニティの活性化のためには、自分の住むまちを良くしたいという、言わば「区民意識」のようなものを育む必要性が、8分野に共通の課題として挙げられるのではないかと課題意識を共有しました。



## 2 区民意識調査の結果概要

西区区民会議での活動や提案にあたり、区民が日頃の生活の中で感じていること、これからの西区全体のまちづくりについて考えていることを把握する目的で、「西区区民意識調査」を実施しました。

調査の概要は以下の通りです。

- 調査対象：4,000人(18歳以上の男女各2,000人、無作為抽出)
- 調査方法：郵送による配布・回収
- 調査時期：平成15年12月下旬～平成16年1月下旬
- 回収結果：有効回答数1,712 有効回答率42.8%  
メット前に礼状兼ご協力のお願いを送付

### 1. 暮らしを取り巻く環境について

問1：生活環境への満足度【5段階評価】

### 2. 区内における各種行事

問2：区内における各種行事の認知度、参加状況、評価

- (1) 西区ふれあいまつり
- (2) 西区防災訓練
- (3) 西区誕生記念作品展

### 3. 区内の公共施設

問3：区内の公共施設の利用状況と評価

- (1) 市民活動施設
- (2) 公園・運動施設
- (3) 保健・福祉施設
- (4) 区役所・支所

### 4. 大切にしていけるべき「区の宝」

問4：西区の地域資源【選択式】

問5：西区の地域資源【その他自由記述式】

### 5. 地域の活力

問6：西区における地域の活力

### 6. まちづくりへの参加

問7：隣近所との付き合い

問8：自治会やその他の市民活動への関心度・参加状況

問9：西区区民会議の認知度

問10：西区区民会議で部会ごとに検討して欲しいテーマ

- (1) 都市基盤・交通部会
- (2) 健康・福祉部会
- (3) 文化・コミュニティ部会

問11：西区区民会議への参加意向

### 7. 西区の将来像の実現に向けた取り組み

問12：西区の将来像の実現に向けた取り組み

### 8. 自由意見

以下に、主な結果をいくつかご紹介します。

## ①生活環境への評価は概ね低い（問1）

身近な生活環境についての35項目に対する評価を聞いた結果、ほとんどの項目について「不満」という回答が多いことが分かりました。

以下の表は、35項目の中でも評価が特に高かった項目、特に低かった項目を抜粋したものです。5段階評価で「A」を最高評価、「E」を最低評価とすると、

最も評価の高い項目は「日当たりや風通しの良さ」で、最も評価が低かったのは「夜道の明るさ」という結果となりました。「A」に該当する項目は見られませんでした。

地区別には、評価が全体的に指扇や内野でやや低く、馬宮でやや高いという結果となりました。

項 目		全区	指扇	馬宮	極水	内野
安全性	交通安全対策（歩道、踏切、交差点など）の状況	D	E	D	D	E
	夜道の明るさ	E	E	E	E	E
利便性	身近な地域での道路の使いやすさ	D	D	D	D	D
快適性	日当たりや風通しの良さ	B	B	B	B	B
	緑の豊かさ	C	C	C	C	C
	下水や排水の処理状況	D	D	D	D	D
	ごみ収集の体制や回数	C	C	C	C	C
	文化性	レベルの高い芸術文化に親しむ機会	D	D	D	D
	国際交流を楽しめること	D	D	D	D	D
総合	上記を総合して、どの程度満足していますか。	D	D	C	C	D

## ②公共施設の利用促進に向けたさらなるPRが課題(問3)

区内21ヶ所の公共施設について、「利用した場合の評価」と「利用しない理由」を聞きました。「利用した場合の評価」については、多くの施設において「普通」が多く、次いで「良い」が多いという結果となりました。

「利用しない理由」については、第1位に「利用する必要がない」、第2位に「利用したいが交通が不便」があげられた西区役所を除く20ヶ所の施設すべてにおいて、第1位に「利用する必要がない」、第2位に「どこにあるか知らない」があげられました。

「利用する必要がない」という回答は、施設から離れた場所に住む回答者に特に多くみられましたが、そ

の一方で、施設の近所に住む回答者にも2～3割みられました。また、特に30歳代の若年層には「どこにあるか知らない」という回答も目立っています。

これらの結果から、公共施設がすべての区民に利用されない原因の一つとして、公共施設が提供するサービス内容、あるいは公共施設の存在そのものが十分に区民に知られていない、ということが推測されます。今後は公共施設サービスに関する情報をさらにPRすることにより、公共施設の有効利用をさらに促進することが課題となります。

以下に主な結果のいくつかを示します。





### ③ 緑と水辺の保全とさらなる活用が課題(問4、問1)

西区の地域資源を聞いた問4の結果は以下のようになりました。上位5位は緑や水辺に関する地域資源となっています。

荒川河川敷や鴨川の桜堤など、水辺に関する地域資源も上位にあげられています。しかしながら、生活環

境への満足度を聞いた問1では、「緑の豊かさ」への評価が高かったのに対し、「川や沼などの水辺との親しみやすさ」への評価は低くなっています。

今後はこれらの地域資源をさらに活用するための方策の検討が課題となります。

順位	地域資源	回答結果
1	大宮花の丘農林公苑	582件(34%)
2	荒川河川敷	538件(31%)
3	三橋総合公園	418件(24%)
4	鴨川の桜堤	393件(23%)
5	雑木林や農地	392件(22%)

順位	地域資源	回答結果
6	秋葉神社・秋葉ささら獅子舞	309件(18%)
7	健康福祉センター西楽園	300件(18%)
8	青葉園のフジ	274件(16%)
9	祭りなど伝統芸能でのお囃子	269件(16%)
10	錦乃原桜草園	183件(11%)

### ④ まちづくりへの区民参加の促進が課題(問8、問9、問11)

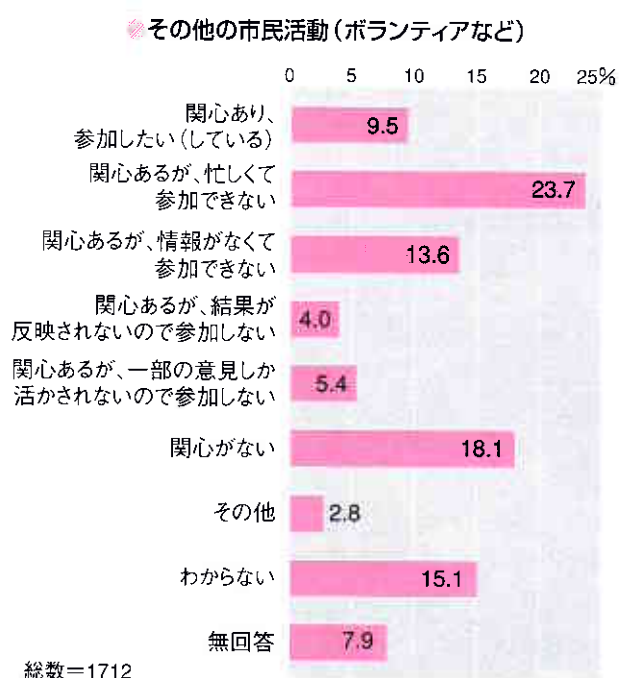
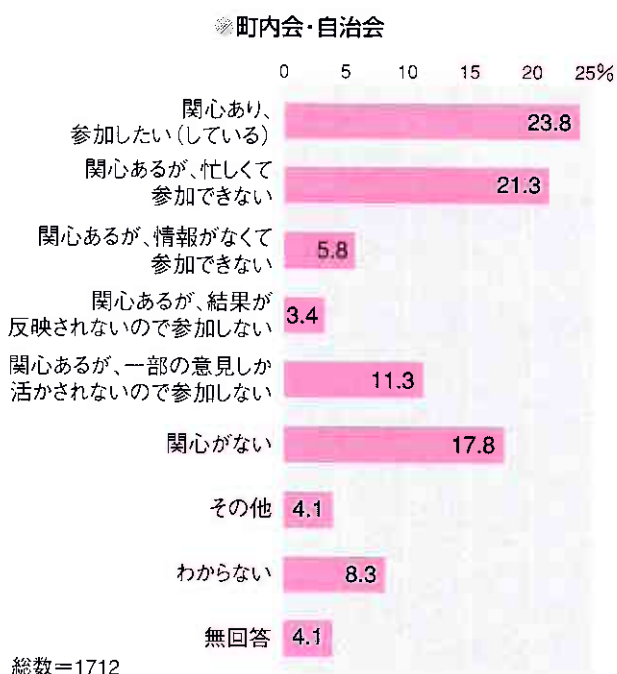
まちづくり活動への参加状況を聞いた問8では、「(まちづくりへの参加に)関心がある」という趣旨の回答が「町内会・自治会活動」では66%、「その他の活動(ボランティア活動など)」では56%みられました。

「関心がない」が「町内会・自治会活動」「その他の活動」それぞれで18%程度であることと比較すると、多くの区民がまちづくり活動に関心を持っていることが分かります。まちづくり活動への関心が高い一方、

実際に活動に取り組んでいるという回答は「町内会・自治会活動」では23%、「その他の活動」では10%程度です。

いずれにおいても「関心があるが、忙しくて参加できない」という回答が多いのですが、特に「その他の活動」では「情報がなくて参加できない」という回答も14%みられ、今後は活動に関する情報提供の充実が課題の一つとなっています。

問8:まちづくり活動への参加状況

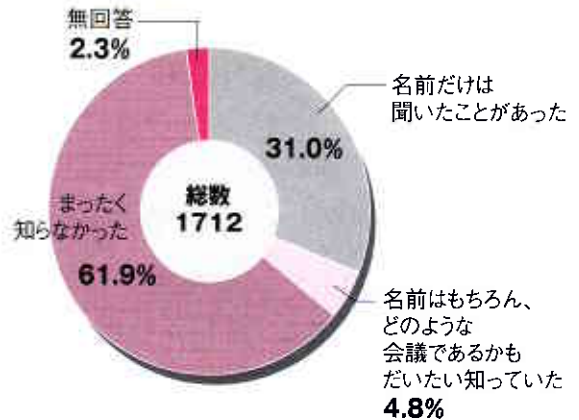


まちづくり活動を行う全区的な組織として新たに誕生した“西区区民会議”の認知度を聞いた問9では、「まったく知らなかった」という回答がおよそ6割を占めていますが、「名前だけは聞いたことがあった」「名前はもちろん、どのような会議であるかも、だいたい知っていた」の合計は36%となっており、第1期の半ばの段階としては、ある程度の知名度を得ているといえます。

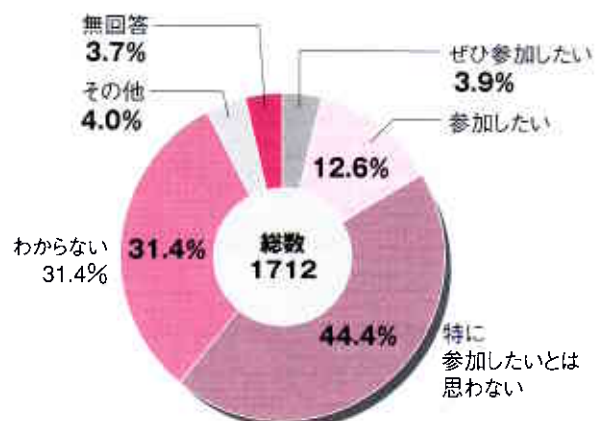
区民会議への参加意向を聞いた問11では、「区民会議に参加したいとは思わない」という回答が45%と最も多いのですが、「ぜひ参加したい」「参加したい」の合計は16%、「わからない」が31%みられます。

このことから、今後は時間を掛けて区民会議の活動成果を着実に積み重ねつつ、これらの「わからない」という回答を「参加したい」に取り込めるようなPRに努めていくことが課題といえます。

問9：“西区区民会議”の認知度



問11：“西区区民会議”への参加意向



## ⑤西区区民会議に検討して欲しいテーマ(問10)

問10では、西区区民会議の三つの部会それぞれに検討して貰いたいことを聞きました。都市基盤・交通部会については「道路・交通」「公共下水道」「防犯」など、健康・福祉部会については「高齢者福祉」「医

療」など、文化・コミュニティ部会については「学校教育」「青少年健全育成」「芸術・文化」などの回答が上位を占めています。

	都市基盤・交通部会	健康・福祉部会	文化・コミュニティ部会
第1位	「道路・交通」	「高齢者福祉」	「学校教育」
第2位	「公共下水道」	「医療」	「青少年健全育成」
第3位	「防犯」	「生き甲斐づくり」	「芸術・文化」
第4位	「自然環境保全」	「健康づくり」	「市民活動、交流」
第5位	「環境美化」	「子ども福祉」	「経済振興」

西区区民意識調査の報告書(完全版)は、区役所1階の情報公開コーナーで閲覧できます。

### 【お問い合わせ先】

さいたま市西区役所区民生活部コミュニティ課

▶ 電話：048-620-2620 ▶ FAX：048-620-2768

▶ 電子メール：nishiku-community@city.saitama.jp



### 3

## 来年度以降の区民会議の活動方針

今までの検討の結果から、分野別にさまざまな課題が明らかになりましたが、それと共に、自然環境の保全と活用、基盤整備の促進、コミュニティの育成など、分野にまたがる課題も数多く存在することが分かりました。

このため、来年度以降の活動方針は、区民会議全体の方針として、以下のようにまとめてみました。

### 1. 自然環境の保全と活用に関して

- 平成15(2003)年度における区民会議の検討の中では、西区の将来像「豊かな自然と歴史文化を活かす すべての人と生活にやさしい うるおいあるまちづくり—愛着と誇りを持てる 自立的な地域社会を目指して—」の素案を検討する中で、水と緑と花が象徴する豊かな自然環境は西区の貴重な資源であることを再認識しました。
- 一方、会議の中では、緑は開発などにより失われ、河川は水質が悪化しているなど、それらの自然は損なわれつつあり、その適切な保全が課題となっているという議論もありました。
- また、休耕地の市民農園としての活用、子どもの遊び場や青少年健全育成の場としての自然の活用、スポーツや健康づくりの場としての自然の活用など、豊かな自然をもっと上手に活用することが課題として提示されました。
- 平成16(2004)年度における区民会議の活動としては、区民の手で豊かな自然を保全し、活用しつつ次世代に引き継いでいくための方策を検討していきたいと考えています。

### 2. 基盤整備に関して

- 平成15(2003)年度における区民会議の検討の中では、都市基盤・交通部会、健康・福祉部会、文化・コミュニティ部会のいずれにおいても、道路や公共下水道などの基盤整備が西区における重要な課題の一つとして取り上げられました。
- 財政状況が厳しい今日、基盤整備の推進は容易なこ

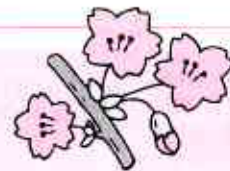
とではありませんが、これについては区民と行政が協力し合って引き続き取り組んでいく必要があります。

- 平成16(2004)年度における区民会議の活動としては、現実に即した効率的・効果的な基盤整備のあり方を研究し、行政に対して提言すると共に、基盤整備の推進のために区民として出来ることは何かを検討していきたいと考えています。

### 3. コミュニティの育成に関して

- 平成15(2003)年度における区民会議の検討の中では、歴史に根ざした地域文化、地域コミュニティの暖かさなどが西区の特性となっていることを再認識しました。
- その一方で、世代間交流が減少していること、中高年齢層の力がまちづくりに十分活用されていないこと、ボランティアなど区民活動のネットワーク化が十分でないことなど、コミュニティの育成には、なお多くの課題があることが指摘されました。
- 今後、すべての区民がいきいきと地域で生活していくためには、住民相互の交流を深め、助け合うことができるようなコミュニティを育成していくことが、ますます求められます。
- また、コミュニティを育成するためには、例えば“花いっぱい運動”などを身近な場所展開していくことにより、言わば「区民意識」のようなものを育てていく必要があるのではないかという問題提起もありました。
- コミュニティの育成に関しては、区民自らの手でしか出来ないことも数多くあると思われます。平成16(2004)年度における区民会議の活動としては、コミュニティを育成し、自分たちが住むまちに愛着と誇りを持てるような自立的な地域社会をつくるために、区民と行政とがどのように協働すべきかという問題について検討していきたいと考えています。

# 『水と緑と花のまち』 西区のまちづくりに参加しませんか！



## 西区コミュニティ会議（まちづくり活動団体）を募集します。

### コミュニティ会議 （まちづくり活動団体）とは

豊かで潤いのある地域社会を築くために、地区のまちづくりや公益活動・福祉活動など、自主的に活動しているボランティア団体（組織）です。

### 申請方法は？

「西区コミュニティ会議（まちづくり活動団体）認定申請書」を西区コミュニティ課へ提出してください。

### 認定されると

活動実績に応じ、その事業費の一部について支援を受けることができます。



### 主な活動内容

- まちづくり活動
- 地域コミュニティ・世代間コミュニティの醸成活動
- 福祉活動
- ボランティア活動
- 公益活動

### 次の場合は申請できません

- 公序良俗を乱す恐れのあるもの。
- 営利を目的としたもの。
- 特定の政党の利害に関する活動を行い、または選挙に関し特定の候補者を支持しようとするもの。
- 特定の宗教・宗派などの支持のための活動を行おうとするもの。

### 【お問い合わせ先】

さいたま市 西区役所区民生活部コミュニティ課 電話：048-620-2620 FAX：048-620-2768

## 西区区民会議への ご意見をお寄せ下さい

西区区民会議は、区民の皆さんのご意見を伺いながら、より良いまちづくりへの検討を進めてまいります。

区民会議で検討してほしい事柄、区民会議への情報提供などは、下記にお寄せ下さい。

- ▶ 代 表 さいたま市西区区民会議 会長 土橋 章次
- ▶ 事務局 さいたま市西区役所区民生活部コミュニティ課
- ▶ 電 話：048-620-2620
- ▶ F A X：048-620-2768
- ▶ 電子メール：nishiku-community@city.saitama.jp

### 【編集後記】

ようやく第2号発行のはこびとなりました。2号からは事務局を頼らず私達の手で、ということで広報部会が設けられ、区民の皆さんにより親しみやすいものにするため、紙面の内容からデザインに至るまで検討し直しました。名称も「区民会議会報」から「区民会議だより」に改めました。

慣れない作業で手間取りましたが、区民会議について私達自身の考えを深める良い機会ともなりました。魅力あるまちづくりのために何をすべきかを、これからも考えていきたいと思えます。

（編集：さいたま市 西区区民会議広報部会）